



“さくらの会”便り

発行責任者	会長 山本静子
編集責任者	事務局長 上原 栄
Tel.0773-22-7859	

ーリラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところー

第2回 交流会

少人数だが有意義に

「次回はもっと多くの人に会いたい」と

令和6年の第2回さくらの会交流会は、9月16日10時から福知山市交流プラザで10名の参加で開かれました。交流会は、参加人数は当事者5名、家族・支援会員5名と少人数でしたが、有意義な交流ができました。当事者、家族からそれぞれの思いを聞くことができ、今後の活動について、考えることができました。



参加者の感想

それぞれのタイミング

水谷剛志

当事者は、ゲームを通して簡単なゲームでも色々と考えたり悩んだりしながら、それぞれの時間を過ごせたと思います。

焦らす者はおらず、それぞれのタイミングを待つ事が【普通】なのだと認識しました。

当事者それぞれの【回復スピード】が違って当たり前なので、お互いにフォローし合う事を楽しんでいる様にも感じました。



障害と共に生きている人達が輪を乱す事も無く、【障害を受け入れながら楽しむ姿】は楽しくて、なかなか言葉では伝えにくい部分でもある事が分かった気がした一日でした。

色々な発見が出来る時間を、有意義に過ごしながら、【当事者の考えている事・感じている事】等を少しずつでも家族の方々に伝えられて、お互いに【理解・共有】出来て、プラス材料を持ち帰る事の出来る様な家族会・交流会が出来ると良いなあって感じました。

